

令和7年2月14日実施

令和6年度

第2回 令和7年 新入生保護者説明会資料



荒川区立第三中学校

荒川区南千住8-10-1

電話 03-3801-5808(職員室) FAX 03-3801-9819
03-3801-5809(事務室) 03-3805-5235(特別支援学級)

お子さんをご入学させる保護者の方におかれましては、ご心配な点が多々あるかと思います。特に、初めてお子さんを中学校に入学させる保護者の方はなおさらではないでしょうか。

本日の説明会で、すべての疑問や不安が解決・解消されるということはないと思いますが、お子様のことでご心配な点がございましたら、私たちもできる範囲でご協力いたしますので、ご遠慮なくお問い合わせいただきたく存じます。そして、保護者の方が少しでもご安心いただくことにより、お子様が夢と希望をもって入学式当日を迎えられるようにしたいと思います。

以下、簡単ではございますが、本校の紹介をいたします。

1 地域の子どもが地域の学校に通い続ける

本区を含め、ほとんどの自治体で中学校の自由選択制を設けている中、本校だけは汐入小学校・汐入東小学校からの入学に制限しており、23区内でもとても珍しいことですが、本校の子どもたちは、この地域、汐入地区で生活している子どもたちです。

したがって、子どもたちは他の保護者や地域の大人の方々との面識があり、その大人の方々のうち、特に、PTAの皆様の献身的なご支援と地域の皆様の多大なご協力により、本校の教育は成り立っているといっても過言ではありません。

2 学校経営方針の柱「社会を構成する一員としての自覚をもたせる」

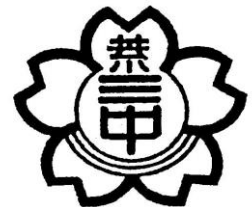
本校の一つ一つの授業、委員会活動、学校行事など、すべての教育活動は「社会を構成する一員としての自覚をもたせる」という方針の柱のもとに実践されています。授業内で友達との対話を通して正解のない課題に自分たちなりの解決策を見出したり、知的好奇心に刺激を与える学習内容を提示したり、委員会や係の一員として学級に呼びかけやプレゼンを行ったり、学校の一員として学校行事を成功に導くために自主的に努力したりするなどの積み重ねが、子どもたちを「社会を構成する一員」に近づけていきます。

3 学校経営方針を支える基盤「一人一人の生徒を大事にする」

社会を構成する一員としての自覚をもたせ、社会人により近づけていくことが目標ではありますが、中学生は大人になりたいと思う反面、思いに対して行動が伴わないこともあります。また、そもそも未成年ということから、私たち大人が保護する対象でもあります。

そこで、本校では子ども一人一人が抱える悩みや課題に関して、個別に話を聞いたり、助言をしたり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつなげたり、保護者の方との連絡を密にとったりしております。そのため、校内には「食物アレルギー」「特別支援教育」「いじめ防止」「不登校対策」などの、教員による委員会組織を設置して取り組んでおります。

校章は、桜花と隅田川を表す三本の弧線からできています。桜の花のように美しい心と隅田川の流れのように清い心の育成を目指しています。



校歌

作詞 勝 承夫
作曲 中田 喜直

青空のかがやきを
朝雲のさやけさを
うかべて力みちわたる

隅田川辺の自治の窓

荒川三中たくましく

はてなく進むわれらの母校

二、 曳船の音湧えて

見はるかす富士筑波

昔も今も汐入は

希望ゆたかに新しく

平和の文化築く町

友情燃えてのびゆくわれら

三、 若者のよろこびを

健康の楽しさを

日毎の胸に抱きつつ

愛と奉仕を誓うもの

荒川三中われらこそ

栄えある明日の日本の力

1 教育目標

人間尊重の精神に基づき、校訓「人間としてかがやく」を目指し、知性と感性に富み、健やかでたくましく生きる生徒を育成する。

2 学校の教育目標を達成するための基本方針

「社会を構成する一員」としての自覚をもたせるため、学級・学年・学校等の各組織の中で生徒主体の積極的な自治活動を通して社会的自立を促し、教科等の中で本校がこれまで培ってきた対話的な学び・生徒同士の学びあいの授業を展開するなど、質の高い教育を提供することにより、社会人としてふさわしい資質・能力の基盤を育成する。

- (1) 学校生活（授業や行事、その他の活動）を通してはぐくむ力。
 - ① 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
 - ② 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、自己の可能性を肯定的に受け止め、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律して進んで学ぼうとする力
 - ③ 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、必要・有益・正確な情報を見極め、適切な解決手段を考え、行動変容することができる力
 - ④ 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、多様な生き方に関する価値を理解し、自ら主体的に判断して人格を形成していく力
- (2) タブレットPC等のICT機器を授業改善の柱の一つに据え、21世紀型能力で求められるICT活用能力の育成を意図的に行い、ICT機器を日常のツールとして使用させ、情報モラルを含めた情報活用能力の育成を行う。
- (3) 活発な自治活動を、委員会活動や学校行事を通して、次の学年に確実に引き継がせていく。また、JRC（日本赤十字）活動の活性化によりボランティア活動を積極的に推進し、公共心や奉仕の精神を育成する。
- (4) 体験活動である「職場訪問」や「勤労留学」等で外部人材と協働しながら社会人として求められるスキルの育成を行う。
- (5) 「弁論大会」をとおして、自らの関心や疑問から粘り強く情報を探し、学校や社会が置かれた現状や問題に対する解決策を考え、言語化し論拠を持ってアウトプットする活動から、未来社会で生きていくために自ら考え、行動できる資質・能力を育成する。
- (6) 様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発達や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図るために、「特別の教科 道德」の指導をとおして、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めさせる。
- (7) 汐入こども園における保育実習、近隣の小学校との交流、JRC活動、クリーニングキャンペーン（地域美化活動）、サマーボランティア、汐入地区の地域行事、防災活動への参加など外部人材との交流活動をとおして、他者との共存や望ましい社会形成に資する態度を育成し、汐入地区を構成する一員としての自覚を高めさせる。
- (8) 特別支援学級との交流及び共同学習を推進し、障がいをもつ個性と捉えるとともに、多様な人々と望ましい人間関係を構築する力や、共に課題を解決していこうとする姿勢を身に付けさせ、共生社会の確立に向けた意欲を高めさせる。
- (9) 「一人一人の生徒を大事にする」を根底とし、学校生活における問題や困難に教職員全体で取り組む。
- (10) 「小中一貫教育実践校」として、クリーニングプロジェクト、合唱交流、あいさつ推進日等を可能な限り行い、小学校との滑らかな接続を構築する。
- (11) 学習内容・学習習慣の定着のため「三中てらこや」を実施し、授業では国語・社会・数学・理科・英語の5教科の授業でスタディサブリを活用する。日ごろの授業だけでなく臨時休業等になった際に、タブレットパソコンによるオンライン授業のほか、スタディサブリの課題を提示などの学びの継続を図る。
- (12) 学校公開、校内の写真展示、学校ホームページの更新や学校からの各種たよりの発行により、生徒の活動を広く発信し、地域・保護者からの教育活動の「見える化」を図っていく。

◎各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の年間授業時数配当表

区 分 \ 学 年			1	2	3
各教科	必修教科	国語	140	140	105
		社会	105	105	140
		数学	140	105	140
		理科	105	140	140
		音楽	45	35	35
		美術	45	35	35
		保健体育	105	105	105
		技術・家庭	70	70	35
		外国語	140	140	140
	小計		895	875	875
特別の教科 道徳			35	35	35
総合的な学習の時間			50	70	70
特別活動（学級活動）			35	35	35
総 計			1015	1015	1015

備	考
ア 1 単位時間	
授業の1 単位時間を50分とする。	
イ 特別の教科 道徳	
基本的に、道徳は各学年の火曜日の1 校時に設定し、年間で35時間実施する。	
ウ 総合的な学習の時間	
① 総合的な学習の時間は、年間で、1 学年50時間、2 学年70時間、3 学年70時間とする。	
② 総合的な学習の時間の内容は、1 学年「環境学習」、2 学年「福祉学習」、3 学年「国際理解学習」とする。弁論大会を実施し、問題解決・探求型の取り組みを行う。	
エ 特別活動	
① 学級活動では各学年、各学年で1 学年35時間、2 学年35時間、3 学年35時間とする。	
② 学校単位で、生徒会活動等（生徒会行事、学校行事等）に充てる。	
③ 学年単位で、学年活動（学年集会、学年行事事前・事後学習等）に充てる。	
オ その他	
余剰時数は基礎基本の学力の補充に充てる。	

◎日課表

時 程		時 程	
職員朝礼	8:10～8:20	給食	12:35～13:05
本鈴・朝学活	出席確認8:25・8:25～8:30	昼休み	13:05～13:25
朝学習・朝読書	8:30～8:40	予鈴	13:25
移動	8:40～8:45	5校時	13:30～14:20
1 校限	8:45～9:35	6校時	14:30～15:20
2 時限	9:45～10:35	終学活	15:20～15:35
3 時限	10:45～11:35	清掃	15:35～15:50
4 時限	11:45～12:35	下校	16:00

入 学 の し お り

◎荒川区教育委員会からの入学通知書を確認して下さい。

入 学 式	令和7年4月8日（火）	本校2階	体育館
-------	-------------	------	-----

- (1) 受 付 午前9時より午前9時20分までに受付を済ませてください。
新入生は受付終了後、指定された教室に入ってください。
保護者の方は受付で入学通知書を確認いたします。ご用意ください。
受付終了後、体育館にお入り下さい。
- (2) 入学式 午前10時00分～午前11時00分（予定）
- (3) 入学式後 生徒は各教室で担任による学級活動、プリント類の配布等があります。
保護者の皆さんは体育館にて保護者説明会（教材費等について）があります。
- (4) 記念撮影 学級活動・保護者説明会終了後、体育館にて生徒、保護者一緒にクラスで記念
撮影をします。（撮影場所は感染症防止のため変更になる場合があります）
撮影の後、下校になります。
- (5) 持ち物
○新入生・・・スクールバッグ、筆記用具、上履き
◎保護者・・・入学通知書、上履き

*入学式に出席できない場合は本校（TEL 3801-5808）までご連絡下さい。

【学校納付金について】

学校納付金のうち、教材費、PTA会費は一括して計上し、分割してゆうちょ銀行振り込みで納入していただきます。

なお、修学旅行、卒業アルバムに関しては入学後に配布される資料をご確認ください。

*参考 令和6年度1年生学校徴収金(振込手数料は除く)

教材費	PTA会費	合 計
25,000円	2,700円	27,700円

- ・令和6年度はPTA会費を6月に徴収していました。
- ・教材費は5回に分割し、6月～10月で徴収します。
- ・修学旅行費は業者へ委託しているため、ここには含まれていません。

入学前にご準備いただくもの

荒川区立第三中学校 生活指導部

下表の指定品目に◎印の付いている物品につきましては、各指定店で購入してください。それ以外のものは、どこでご準備されても構いません。現在、お使いになっているものでも構いません。裏面の詳細も参考にしてください。また、令和7年度より制服のサブスクリプションサービスも導入されます。そちらも併せてご検討ください。

夏服の衣替え等に関しては、5月頃にご案内いたします。

物品	男女	品目	指定品目	指定店・取扱店	
				おかもと 89	テングヤ洋品店
標準服	男子	ブレザー	◎		○
		スラックス	◎		○
		ネクタイ	◎		○
		ワイシャツ			○
		ベルト			
		靴下			
		ニットベスト及びセーター			○
	女子	ブレザー	◎		○
		スカートもしくはスラックス	◎		○
		リボン	◎		○
		ワイシャツ			○
		靴下（黒タイツ可）			
		ニットベスト及びセーター			○
体育着	男女	トレシャツ	◎		○
		トレタイツ	◎		○
		半袖シャツ	◎		○
		クォーターパンツ	◎		○
上履き	男女	校舎内&体育館内兼用	◎	○	
校章	男女	男女共通（グレーのもの）	◎	○	
通学鞆	男女	通学用バッグ	◎	○	
通学靴	男女	運動に適した運動靴 黒の革靴			

*ノートなどの学用品につきましては、入学後、各教科担当者の指示にしたがってご用意ください。

指定店

★「(株) テングヤ洋品店」 10:00~19:00 定休日：火曜日

荒川区町屋 8-4-8 Tel0120-74-1098

★「ふとんの店 おかもと 89」 10:00~19:00 定休日：水曜日

荒川区南千住 8-12-5-108 べるぼうと汐入東館 1階 Tel03-3801-4725

- 第三中学校指定品目：標準服（ブレザー・スラックス・スカート・ネクタイ・リボン）、体育着、上履き、校章、通学靴。
- 通学靴、靴下、ワイシャツ、ベルト、セーター、ベスト、コートは第三中学校指定品目ではありませんが、下記にしたがってご準備ください。

頭髪・服装について 正しい形で着用しましょう。		男 子	女 子
	標準服 冬服 (10～5月 目安)	標準服（ネクタイ着用）、 黒革ベルト、白地のワイシャツ (開襟シャツ不可)	標準服（リボン着用）、 白地のワイシャツ（開襟シャツ 不可)
	校章	左襟（えり）のホールにつける。 <u>※令和7年度より現在男子がつけているものに統一</u>	
	夏服 (6月～9月 目安)	白地のワイシャツを着用（開襟シャツ不可） ※ネクタイ・リボンの着用無し ※シャツ出しは厳禁 <u>※ベストの着用可</u>	
	通学靴（外履き）	運動靴（白・黒・紺・茶・グレーを基調とするもの）、黒の革靴 ＊体育の運動に不向きなハイカットシューズなどの靴は不可。	
	上履き	令和7年度新入生は、 <u>赤ライン</u> の入った上履き	
	靴下	白無地のスクールソックス（ワンポイント不可） ●くるぶしより上に十分な長さのあるものを着用する。 ●黒タイツ可。レギンスなどは不可。	
	セーター、ベスト	白、アイボリー、紺、黒、グレーの無地着用可。清潔を保つこと。 ●セーターの袖が長いときは手のひらがみえるよう折って着用する。 <u>●ブレザーの裾から出ない長さのものを着用する。</u> ●無地に限る。（ボタン無し・ライン無し・模様無し） ●エンブレム(ワッペン・ワンポイントのついたもの)は不可。 <u>※セーターの着用は冬服着用時のみとする。</u>	
	防寒着	スクールコート、ピーコート、ダッフルコート、ダウンジャケット （黒、紺、グレーの無地）※ファー付きのものは禁止	
	頭髪	<男女共通> ●頭髪は清潔を保つ。 ●頭髪の染色、パーマ等、一切加工しない。 ●整髪料等を使わない。 <例えば男子の場合> ●前髪は目にかからない。後ろの髪は肩にかからないように切る。 ●ピン留め不可。ゴム等で髪を結わかない。 <例えば女子の場合> ●髪ゴムの色は黒・紺・茶に限り、スプリングゴム等は不可。 ●後ろ髪が肩にかかる場合は、肩にかかる髪をすべてまとめて、一つ（横結わきは不可）または二つに結わく。 ●前髪が目にかかる場合は、かからないように切るかピンで留める。前髪のみをゴムで結わくのは不可。 ●ピンは黒いアメピンに限る。パッチン留め、クリップピン等は不可。 ●編みこみ・おだんご・カチューシャ・シュシュ・リボン等は不可。 ●結わく位置は耳の高さか、それより下とする。	

学習について

1 定期考査について

それぞれの教科の知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等が身に付いているか評価するために行います。1・2学期は中間考査と学期末考査を、3学期は学年末考査を実施します。

中間考査では国語、数学、英語、理科、社会の5教科、期末考査と学年末考査は、5教科に加えて音楽、美術、保健体育、技術家庭の9教科で行います。

※1学期中間考査の出題範囲は、小学校の復習が含まれる教科があります。詳細は授業でお知らせします。

2 特色ある学習

①主体的で対話的な学び

日ごろの教科の授業では、教師が進める講義だけでなく、少人数のグループによる協働学習や、対話的な活動を多く取り入れています。生徒が主体となって話し合うことで、多様な考えを受け止め、さらに自分の考えを表現し、深めることにつなげています。

②情報教育

ICT 機器と書籍を併用し、学校図書館を情報センターと位置づけた活動を行っています。2学年では、図書館を使った調べる学習コンクールにも挑戦します。

③校内弁論大会

全校生徒が一人ずつ自分の考えを発表します。学年ごとのテーマで、学校図書館やICT 機器を活用して調べた内容をまとめ、原稿を作成します。学級弁論大会では、自らの考えを生徒全員が一人一人発表します。学級弁論大会を経て学年弁論大会で選出された各学年の代表弁士が、全校生徒の前で熱弁をふるいます。

3 基礎学力の向上を図る取組

①学習計画表

定期考査の範囲表や家庭学習計画とその自己評価、個票の結果を1冊の冊子にまとめています。定期考査の2週間前から取り組みます。計画、実行、ふりかえりを促し、次の学習へとつなげます。

②補充教室 ※希望制

補充教室は夏季休業中に実施予定です。夏休みのまとまった時間を使って基礎の定着を図ります。

③「三中てらこや」※希望制

希望制で放課後学習を行っています。令和6年度は火曜日と木曜日に、年間30回実施しました。オンライン学習コースと検定コースがあり、eラーニング(スタディサプリ)や各自の学習課題、各種検定対策等に取り組みます。学期ごとに希望をとります。

4 各種検定 ※希望制

本校では漢字検定、数学検定、英語検定の実施を予定しています。

5 入学に向けてのお願い

①授業を大切に

中学校の授業は50分です。残りの小学校の授業を集中して受けましょう。宿題があるときは必ず行い、提出してください。

②家庭学習の習慣を

宿題がない教科も、教科書やノートを見て授業の復習をしましょう。予習よりも小学校で習ったことをよく復習してください。eラーニング(スタディサプリ)は手軽に学習できるので、積極的に活用しましょう。